

4 月 5 日、池田市くれば音楽堂で豊能地区、小・中学校初任者及び新規採用養護教諭研修、新規採用栄養教諭研修、新規採用事務職員研修の開講式を行いました。学校では新年度体制づくりの会議等が続く中、市町によっては午後からも研修ということで、大変忙しい一日だったと思います。

開講式では、事務局長の挨拶にはじまり、服務の話、そして豊能地区の小中学校の先輩、豊中市立第三中学校の奥川先生、箕面市立中小学校の平野先生のお二人からメッセージをいただきました。

- 先輩方の経験談から話を聞くことができ、今自分の「不安」な気持ちが少し和らぎました。
- 働き出して3日経った今、不安とともに何もできていない自分に歯がゆい思いをしていました。しかし先輩方の話を聞いてまずは一歩ずつ行動することが大切であること、子どもたちとの出会いは感動的なものであるということを実感できました。ありがとうございました。
- お二人とも、子どもに対する愛情と仕事に対する責任感が一言一言込められていて、私も一年後先輩のような教師になりたいと強く感じました。

初任の1年間はこれからの教職生活の基盤となる基礎・基本を実践の中で学ぶ時期です。先輩方のように失敗を恐れず、日々の出来事の全てを成長の糧としてください。

### ☆信頼を創り出すコミュニケーショントレーニング☆

後半はコミュニケーショントレーナーの、せとぐちちか先生による研修でした。ペアワークを交えた演習では、自分自身のコミュニケーション癖を知り、トレーニングすることで、今までと違ったコミュニケーションをとることができました。

この研修で一番大切にすべきことを「聴く」ことだとしっかり認識でき、不安が減りました。実際に演習を行った中で実際に黙って聴いてもらうことで自分の中で考えが整理できたり、話をしている大きな問題でもないなあと感じるようになり「聴く」ことの持つ力の大きさを再確認できました。

コミュニケーション力はトレーニングすれば改善されるという言葉に自信が持てました。私はコミュニケーション力に自信がないので意識して自分の癖を観察→変化→実行させていきたいと思います。

コミュニケーション癖は治せる！私は自分のコミュニケーション癖がでないようにすると、黙ってしまい無口な人と誤解されることがあり、これからは意識してコミュニケーションしたいと思います。自分の話を聞いてくれる人にはとても信頼を寄せるし、相手の話も聴きたいと思います。黙って話を聴くことでおのずと解決策を引き出せる先生になりたいです。

黙って聴くことの大切さを学ぶことができました。私は話すのが好きで、実際演習で黙って聴く側になったとき、しんどかったです。ただ私が黙ることで相手が自分のことをどんどん話してくれている色々な情報を引き出すことができました。人の話をしっかり聴くトレーニングをしていきたいです。“沈黙は金なり”“ほいで？”をしっかり心に留めておきます。

黙ることが苦手なので、今日のトレーニングはとても勉強になりました。大人も子どもも黙って人の話を聴くことは大切だと思います。これからいろんな人と関わっていく中で、人の話を最後まで聴くことを意識していきたいです。

コミュニケーションは教職に関わらず、生活していく上でとても重要で大切にしたい部分であるので、この時期に今回のお話を聴くことが出来てよかったです。特に自分のコミュニケーションの癖を観察して変化させ実行するという意識のお話を知らなかったのが、こういった方法でも変わっていくんだなとわかりました。ワークでは相手が黙ることで自分が解決策を考えたくさん話すことができたので楽になりました。黙って聴くことの大切さがわかりました。今回は貴重なお話ありがとうございました。

頭ではわかっているつもりでも、経験することで生きた学びとなります。日々の実践の中で、子どもたちや保護者とのコミュニケーションに悩むこともあると思います。そんなときこそ、今日の気持ちを思い出し、笑顔で相手の話を「聴く」ことのできる人を目指してください。